

おむつのサブスクリプションを中心とした手ぶら登園サービスの導入について

半田市では、保護者が持ち帰っていた使用済みの紙おむつを、本年10月から園で処分するのに合わせて、保護者の登園準備に係る時間短縮や荷物の負担軽減を図り、子育てをしやすい環境をさらに整えるため、「紙おむつ月額定額制サービス（紙おむつサブスクリプション）」を導入します。

1 導入内容

月額定額で紙おむつ・おしりふきが使い放題

※実証実験期間（10月～11月）は無料

※実証実験期間経過後、継続利用を希望する保護者は、月額2,508円（税込）で利用可

2 実証実験期間

令和4年10月1日（土）から11月30日（水）までを予定

3 実証実験園

公立保育園・こども園 15園、児童発達支援センターつくし学園

4 その他の保護者負担軽減の取り組み

(1)令和4年10月1日から、市が使用済み紙おむつの回収を実施

園で交換した園児の使用済み紙おむつは、降園の際に、保護者が持ち帰って処分していましたが、園で回収することにより、感染症の予防と保護者の荷物の負担軽減を図ります。

(2)令和4年10月1日から、スマートフォンで欠席連絡の受付や緊急時の連絡を行うことができる保護者アプリを導入し、毎日の連絡に係る保護者の手間や負担を軽減します。

5 「紙おむつ月額定額制サービス（紙おむつサブスクリプション）」の仕組み

